**📝 Hamlog2Weblog.html 使い方ガイド**

このプログラムは、Turbo HAMLOGから書き出したデータを、特定の項目順に整理し、文字コードを「UTF-8（BOM付き）」に変換してWeblogで読み込める形で保存します。

**1. 準備：HAMLOGからデータを書き出す**

まず、変換元となるデータをHAMLOGから用意します。

1. Turbo HAMLOGを起動し、メニューの **[検索]** → **[複合条件検察と印刷]** → **[レコード番号範囲を指定]**→ **[CSVファイル]**選択します。
2. 形式を **[CSV形式]** にして**[**検索なし**]**ボタンを押します。
   * ※この時、項目順がデフォルト（コールサインが先頭、または日付が先頭など）であっても、このツール側で自動判別・並べ替えを行います。

**2. ツールの起動**

1. 保存した **Hamlog2Weblog.html** をブラウザ（Google Chrome, Edgeなど）で開きます。
   * インターネット接続は不要です（オフラインでも動作します）。

**3. ファイルの変換手順**

1. **ファイルを選択** 画面中央の **[CSVファイルを選択]** ボタンを押し、手順1で用意したHAMLOGのCSVファイルを選択します。
2. **内容の確認** ファイルを選択すると、画面に「選択済み：(ファイル名)」と表示されます。
3. **変換と保存** **[変換してダウンロード]** ボタンをクリックします。
4. **ダウンロード完了** 自動的に **weblog\_日時分秒.csv** という名前のファイルでダウンロードされます。

**✨ このツールが行う主な加工内容**

変換の際、以下の処理を自動的に実行します。

* **項目の整理（13項目化）**: HAMLOGの多岐にわたる項目を、以下の順序に集約します。 日付, 時間, コールサイン, 周波数, モード, 相手RST, 自局RST, QSL送付, 名前, QTH, JCC/JCG, 備考1, 備考2
* **年4桁化**: 日付が 00/06/13（年2桁）の場合、自動的に 2000/06/13（年4桁）へ補完します。
* **時間のクリーンアップ**: 時間項目に含まれる「J」や「U」などのアルファベットを削除し、純粋な数字と記号（例: 23:12）のみにします。
* **文字コードの変換**: HAMLOG特有の「Shift-JIS」から、現代の多くのWebサイトで標準となっている **「UTF-8（BOM付き）」** へ変換します。これにより、ExcelやGoogleスプレッドシートで開いても文字化けしません。

**💡 うまくいかない場合**

* **変換ボタンが押せない**: ファイルが正しく選択されているか確認してください。
* **文字化けする**: このツールは入力ファイルを「Shift-JIS」として読み込みます。もし元ファイルがすでにUTF-8の場合は、正しく読み込めないことがあります。